

## 放送番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成20年1月23日(水) 18:30～19:20
- 2 開催場所 奄美市名瀬金久町4番3号 特定非営利活動法人ディ会議室
- 3 出席委員 委員総数 8名  
出席委員数 6名  
出席委員の氏名 西平功／大久保惣市／高良俊礼／中村瑞希  
越間誠／重信千代乃  
欠席委員の氏名 望月信悟(文書による意見提出あり)／山田通央  
放送事業者側出席者名 麓憲吾／丸田泰史／嘉川孝之／  
中原優子／小野健太郎／水間由里子

### 4 議題

- (1) これまでの総評、今後の提案等
- (2) 一般聴取者の意見、要望等
- (3) その他

### 5 議事の概要

任期最後の審議にあたり、開局からこれまでの総評と今後の提案を伺った。全体的には質が上がって安定してきているとの評があった。島民のためのラジオであることを忘れずに、今後も地域の人、言葉、文化、イベントなどを紹介し、さらなる放送内容の充実とエリアの充実を求める意見が出された。

また第4回放送番組審議会でも指摘のあった住民の企画による番組「サウンドゥシー」(1月末で終了し再編を予定)のガイドライン作成について、公人であることの意識が欲しい、大人数の出演は聞き取りにくい、音楽に限らず広く市民の声を出す番組としてはどうか、等の意見が寄せられた。放送局側からは混信対策と受信可能地域の拡大について現在の状況の報告があった。

### 6 審議内容

#### 西平委員長

放送は安定期に入ったのではないかと、これまでを振り返りながら、さらに今後について意見を。最近、年長者がよく聞くようになってきている。口コミでラジオが浸透してきている。色々な意見を聞きながら、ますます良い番組を作って行って欲しい。

- (1) これまでの総評、今後の提案等

#### 大久保委員

皆さん落ち着いて、しどろもどろさもなくて慣れてきた。安心して聞ける。周波数変更の問題を早く解決して周波数の入った販促物などを作り、認知度を高めて欲しい。「島ツチュのための」ラジオということのを忘れないで、色々な企画を起こしてほしい。

#### 中村委員

先日は笠利の島唄クラブの紹介をありがとうございました。代表の方も喜んでいました。笠利はどうしても電波の状況が良くないので、「聞けないから残念ね」という声がチラホラ聞こえたので

すが、ここに行けば聞こえる、という場所がわかってきたので、その場所を教えるようにしています。笠利にも沢山の人が、あまみエフエムを聞けるようになるのを楽しみに待っています。

#### 重信委員

60代の方たちがとても楽しみにして、生番組は必ず聞くようにしているという声をよく聞きます。大島支庁や転勤族の方達が朝通勤の時に聞いているという話もよく聞きます。とても良い事だと思います。民間でイベントをする時に広報に困りますが、ラジオでの紹介で聞く人と近づけるチャンスだと思います。ラジオは出演者の幅が広いので小さい子からお年寄りまでもっと出番を充実させて欲しい。また、おるみさんの番組でぜひ、「島の暮らしの知恵」等を取り上げて欲しい。

#### 越間委員

ここに来て落ちついてきた。島の情報、純「島」産の、島の手づくりの放送局ということで、細かい情報が電波を伝って流れてくる。ラジオの役割は一般の人が期待していた以上に大きな効果をあげているのではないかと思う。昔、おがみ山の上に大きなスピーカーがあつて、「オリエンタルラジオ」というのを大音響で流していた。島尾敏雄が神経をすり減らしたと書いているが、否応ない音の暴力ではなくて、選択の自由があるということ、より近密、ローカルな内容が気に入られて、島の言葉も入っていて、身近な放送として認知されてきている。番組も工夫して取り組んでいると感じられるので、どんどん取り入れてやっていただきたい。

#### 高良委員

開局から今まで大変ながら放送をしてくれてありがとうございます。お疲れさまです。手探りで自分達で一からやっていて当初はあたふたした感じがあったが、パーソナリティさんに質の高いものに向かおうという意識があり、いい感じで育ってきている。地域FM独特の温かみ、人情を感じられる番組が多く、非常に勉強になり、またいい気持ちになれる事を感じて嬉しい。今後について、メディアとは器だと思います。島には色々な面白い価値観を持った人が沢山いる。島を良くしていくきっかけになれるような事もまだまだ埋もれています。個々の価値観を無限に相対化させていくようなメディアになることを期待します。

#### 西平委員長

最初でこぼこ感があったが、ならされて来た。面白いパーソナリティ、気になる存在の人も出てきた。今は広く浅く一般的なテーマを扱っているが、逃げないファンをつかまえているとすれば、深く掘り下げながらそのテーマと一緒に考えるようなものも、もうそろそろやっていいと思う。フットワークが良く、すぐ現場に行つて録ってくるというのが良い。また告知効果が高い。新聞等は広告料金がが高いが、ラジオの告知コーナーを利用し、先着何名プレゼント等、うまく使えばいいのではないか。島の出身者の情報が聞けるし、帰郷したら出演するというのも近況報告が出来ていい。島口が非常に使われていて、今まで使わなかった人達も「この響き面白いよね」という事が出てきている。その辺を重点的にしていけば、他との差別化をはかれるのではないか。

#### 望月委員（欠席にあたり文書での意見提出を紹介）

##### サウンドゥシー改編について提案

現行の「サウンドゥシー」的な番組として、市民（会員）の企画・参加するものが欲しい。「サウンドゥシー」では”島のミュージシャンの音楽番組”という枠がありましたが、この枠にこだわらず、広く市民の「声を出」す番組としては。タイトルは「サウンドゥシー」のままでよいと思います。

##### 他のリスナーからの反応

- ・「夕方フレンド」ではゲストよりパーソナリティーの方が喋っている。
- ・年末年始におかしな放送が目立った。

(元旦の「ディ！ウェイブ区長さんのゴミ出し情報」「おるみさん」で31日分の放送が流れていた、等)

-放送局 水間

年末年始は特別番組が多かったが、放送日付を誤る等のプログラムミスがありました。

西平委員長

「サウンドゥシー」が1月末で終了することについて、経緯などは。

-放送局 麓

各地元ミュージシャンの活動を伝えて共感を生めば、という趣旨でやってきました。開局からここまで伸びがないく第三者に伝える術が身に付かない組があり、失言も多い。もちろんクオリティの高い方々もいるので、両極端になってしまったと感じる。放送した以上は局側に責任があるという事で、ガイドラインを作り再編したい。月30組が日替わりというのはリスナーにとってもプログラムがわかりにくいので整理し、出演者が増えれば時間帯を拡げ対応したい。

西平委員長

プロは安心して「これだけは守る」というのがあるが、コントロールが難しい。

-放送局 麓

住民参加型とはいえど、誰でも何でもしゃべっていいという訳ではないので、入口の作り方のを考えていかなければと思う。

高良委員

問題なのは恐らく出演人数の多い組だと思う。慣れている同士では話しやすいが、普段友達としゃべっている会話にしかない。ガイドラインは、まず1人でこれを伝えたい、という事を持っているのが大前提。合間を見てゲストを入れる様な作りで、公人としての意識を持って欲しい。

-放送局 麓

照れくさいという事もあって団体で出るが、リスナーからも「複数は伝わりにくい」という意見があった。ゲストを含めて3人が限度、1人、2人でやっている方のほうが聞きやすい。

西平委員長

コーディネーターがいて交通整理をすればいいが、かぶって話す聞き取りにくい。

重信委員

ただ、普段音楽に接していない人から見ると、非常に耳新しく、興味を持って聞ける。時間帯も含め、そういう意味ではすごく惹かれる番組でもある。

-放送局 嘉川

あまりにもルールがなく、中には下ネタを言うような方もいた。民放キー局の深夜帯であれば問題はないと思うが、コミュニティという地域に根づいた放送として頂けない発言もあった。また、最初は緊張をほぐすために飲酒を許可したが、行き過ぎたところもあるので、締め直し、それでも参加したい、一緒に番組を作っていこうという意識のある方をお願いしたい。

西平委員長

下ネタ、差別、プライバシー等、そこだけはしっかりやらないと、取り返しが見つからない。

高良委員

ある年齢にとってはOKな事でも、違う年代の人達も聞いている。

-放送局 麓

それぞれ切磋琢磨して向上していくような流れを作りたい。

西平委員長

コアなものまで色々なジャンルがあり、こんなに沢山音楽を好きな人がいるんだと思った。ものすごく面白い。

高良委員

実際ラジオで流れてた曲を、お店に聞きにくる人がいました。しかも高校生等で。

これは大きな成果だと思います。CDを買いに足を運ぶのは、余程感動したという事ですから。

重信委員

若い頃、自分達がラジオを聞いていた時は、どちらかと言うとああいう会話的な物を聞いていた。それが楽しくて引込まれてたという事がある。今言ったように決めてやるという事であれば、子供たちが受験勉強しながら聞ける時間帯でもあるし、番組も作れそうですね。

高良委員

色々なキャラクターの人がいていいと思う。にぎやかな人がいてもいい。ただそこに一定のモラル、外に向かってしゃべっているという意識、音楽を紹介しているんだという精神が欲しい。

西平委員長

ただ時間を埋めれば終わる、ではなく、そこにどれだけの価値があるかを考えて欲しい。

-放送局 麓

大久保委員からも意見のあった周波数の件について報告を。昨年12月に周波数変更について了承を頂きました。4月頃からEスポによる混信を調査し周波数を決めたいと思います。あわせて受信状態の改善を狙い、アンテナの高さと仕様の変更申請をしています。笠利、住用の難受信地域の対策に関しては自治体と協議をしています。また宇検村にコミュニティFMが設立され、放送を共有することが決まりました。今後NPO法人設立、総務省への申請という流れになります。

## (2) 一般聴取者の意見等

-放送局 水間

島唄が多すぎる、もっと新民謡を流して欲しいという意見がありました。

現状は双方とも同じ番組内に同じバランスで流しているつもりですが。

中村委員

ふだん新民謡を聞かないので、島唄と一緒に入っているから聞ける。もし独立して島唄、新民謡の番組をわけた場合は、新民謡だけの時間帯に自分が周波数を合わせて聞くか疑問に思う。別々よりは（現状の通り）一緒のほうが聞きやすい。

西平委員

島唄などはレベル調整が難しいのでは

-放送局 水間

自動調整する機械は2〜300万円程度するそうです。現状すべて手動で調整しています。

## (3) その他

重信委員

現在は新聞をニュースとして読んでいますが、災害時以外でも、今起きていることを伝えるニュ

ースは。

-放送局 麓

今後実現できればと思う。

西平委員

1人の視点で、このニュースをどう見るというのがあれば良い。

重信委員

選挙報道など、今起きていることを即時に伝えられるのが本当は一番いいのかなと思う。

-放送局 中原

先日は名瀬地区の駅伝大会の結果報告を電話中継しました。自分達が取材に出かけるのは、現状では難しい。情報を持っている人にもっと送って欲しい。先日は駅伝で新記録を出された方と電話でつながったので、生放送の最後に出演していただきました。行って録って来て放送というのは時間的な問題があり難しい。電話を使っての中継が今出来る一番の事になります。

重信委員

ぜひ、そういうのをこれからもずっとやってください。

西平委員長

夕方フレンドはまだまだ続きそうですか。楽しみにしています。

-放送局 麓

どなたかゲストになる方がいらっしゃれば、ご紹介下さい。

重信委員

お悔やみ情報が最近始まった。ラジオでお悔やみを聞くかな、という思いはありますが、評判は。

-放送局 麓

開局前から島のラジオとしてお悔やみ情報はありではないかと思っていた。お悔やみという内容から反応を聞くのは難しいが、新聞の広告を見逃したというのはよく聞くので、活用して欲しい。

## 7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

第4回放送番組審議会（平成19年9月12日開催）における「サウンドゥシー」に関する改善意見について、番組を平成20年1月31日で休止する。今後は今回の審議内容の通り、改善についてのガイドラインを作成し、再編成を予定する。

## 8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

- ① 自社放送：平成20年2月9日（土曜日）17:30～「ゆぶいニング・アワー」番組内で放送
- ② 書面の備置き：平成20年2月7日（木曜日）から、当該事項を記載した書面（議事録）を当法人事務局へ備置き、聴取者の閲覧希望に対応
- ③ インターネット：平成20年2月7日（木曜日）より当法人インターネットのホームページに掲載

## 9 その他の参考事項 なし